



令和7年5月9日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 324(2025年5-6月)

■講演会「デジタルアーカイブで竹本床本を読む」報告

2025年3月22日(土) 午後6時～8時

会場：本の森ちゅうおう1階多目的ホール

講師：竹本葵太夫（人間国宝・竹本太夫）

武藤祥子（松竹大谷図書館）

去る3月22日(土)に、人間国宝で竹本の太夫である竹本葵太夫師を講師にお迎えして、中央区立京橋図書館主催の講演会「デジタルアーカイブで竹本床本を読む」が開催されました。この講演会は、当初、葵太夫師に歌舞伎の義太夫狂言の劇音楽である「竹本」と、竹本の太夫(語り手)が舞台で用いる「床本」について解説して頂く、という企画だったそうですが、葵太夫師のご発案により、昨年10月にWeb公開を行った当館のデジタルアーカイブ<竹本床本検索閲覧システム>を活用した講演会にしようということで、当館にもお声掛けを頂き、司書の武藤祥子が参加して、葵太夫師のご講演の前にデジタルアーカイブについて解説を行いました。

葵太夫師は、三月歌舞伎座で昼の部の『仮名手本忠臣蔵 四段目』にご出演中であったため、午後6時から8時という夜の開催となりました。講演テーマが「竹本床本」という、歌舞伎の資料の中でも非常に専門性の高い資料であったため、どの程度興味を持ってもらえるのか企画時から心配の声はありましたが、参加受付が開始されてから6日目の東京新聞朝刊で告知

記事を掲載して頂いたところ、出足からすでに好調だった申込がその日の午前中にはあつと言う間に定員80名に達して受付終了となったそうです。当日は、開場前から入場待ちの列が出来る盛況ぶりで、関係者席には國學院大學客員教授で文芸家の岩下尚史氏、元伝統歌舞伎保存会事務局長の浅原恒男氏、早稲田大学演劇博物館児玉竜一館長、竹本鏡太夫師曾孫である細川伸夫様をお迎えし、熱意に満ち溢れた会場での講演会となりました。



講演会当日の様子

初めに武藤から、松竹大谷図書館の資料の概要、特に歌舞伎の上演台本の特徴についてお話した後、<竹本床本検索閲覧システム>のデジタルアーカイブ化の経緯と検索システムの使い方、そしてシステムの書誌データについて解説をしました。システムの書誌については『デジタルアーカイブ学会誌』7巻(2023)1号にも「伝統芸能資料「竹本床本」のデジタルアーカイブの書誌について」でも解説をしております。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsda/7/1/7_24/_pdf/-char/ja

データの入力にあたっては、作品の通称や幕名、段名を入力したり、葵太夫師にご助言をいただき、詞章の「語り出し」と「末尾」を入力したりするなど、竹本の太夫が検索に使用する言葉を入力する事で、実演家の利便性を考慮した検索システムになるよう心掛けました。最後にアーカイブの公開による利活用効果として、画像を利用に供することによる原物資料の保存、竹本床本へのアクセシビリティの向上、地芝居伝承者や歌舞伎義太夫(竹本)研究者の利用促進などが期待される事を

目次:

講演会「デジタルアーカイブで竹本床本を読む」報告	1-2
「八代目尾上菊五郎 六代目尾上菊之助襲名披露記念」特別展示&資料紹介	3
オリジナルグッズ新商品が発売開始!	3
松竹大谷図書館所蔵 歌舞伎映画一挙上映&尾上右近トークショー開催!	4
4月特別展示「大谷竹次郎が遺した歌舞伎映画」&資料紹介「祝20周年! シネマ歌舞伎」を開催しました	4
【北條秀司スクラップブック】のアーカイバル容器への収納作業完了	5
松竹大谷図書館所蔵 歌舞伎映画作品 6月衛星劇場にて一挙放送!	5
新着資料案内	6
新規登録資料案内	6
資料提供	7
新たに資料をご寄贈くださった方々	7
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	8
夏期休館のお知らせ	8
松竹大谷図書館へのご来館に關しましてのお願い	8
利用案内	8

お話しして、いよいよ講演会の中心である葵太夫師のお話となりました。

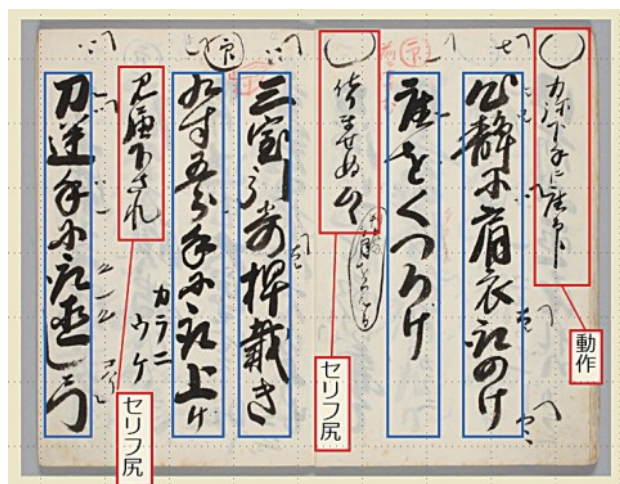
まず、義太夫本（浄瑠璃本）の諸本について、版本の丸本（通し本）や、作品の一部を書き抜いた床本と三味線譜について、文楽と竹本での書式や体裁の違いなど、当館の所蔵資料と葵太夫師所蔵の資料の画像を交えてご説明頂きました。



続いてメインテーマである「竹本床本」について、ご解説頂きました。「竹本床本」は竹本の太夫が舞台上で使用する台本で、使用する太夫が直筆作成する唯一無二の資料です。その床本を太夫さんが実際にどのように製作されているのかについて、用紙や筆、○印の押印に使用するキャップや下敷などの用具、墨書の書体や配置など、葵太夫師ご自身の用具や床本の画像をスライドにご提供頂き、詳しくお話してくださいました。

続いて、床本には、太夫が語る「詞章」の他に舞台上で実際に語るために必要な様々な情報が記載されている事をご説明頂きました。劇中で演奏開始の合図となるのが「キッカケ」です。キッカケとして一番多い「セリフ尻」は、「見届下され」などと俳優のセリフの最後の部分が記載されていて、そのセリフが言い終わった所で演奏が始まる事を示しています。また「力弥下手に座るト」という様に俳優の動作がキッカケとなる場合もあります。強調のため、キッカケの頭には○印が付けられています。

また、「三味線譜」が記載されているのも床本の大きな特徴です。演出により同じ演目でも曲調が変わってくるそうです。三味線によるセリフの強調である「ウケ」や、動作の強調である「カラニ」という言葉も、三味線に関わる記載情報です。



演出が変更になった場合には、貼紙により修整を行うそうです。葵太夫師は、「本文と異なる紙の方が舞台上で直ぐ判別できる」と教わったそうです。当館のデジタルアーカイブに含まれる「竹本鏡太夫」や「豊竹寿太夫」の床本にも、貼紙による修整や、覚書の紙片の挟み込みなどが多数あり、貼紙の撮影順の決定や撮影の取りこぼしが無いようにチェックした事など苦労した覚えがありますが、葵太夫師によると、貼紙の様な実用的な工夫は、床本を舞台上で活用するために長年の経験によって先人が考え出した工夫である事という事です。

こうして舞台上で使用され、様々な情報が記載された「床本」を、葵太夫師は持ち運びの際、肩衣生地で作った床本入れに入れて大切に扱われて、ご自宅ではクリアファイルに収めて、書棚に「本外題＞段＞場面」の順に立てて収納していらっしゃるそうです。

「床本」は使用する太夫自身が作成するため、師匠や先輩から手本とする床本を借り受けて書写する事が欠かせません。葵太夫師は、初めは師匠から借りた床本や譜本を罫紙に書写して鉛筆書きで書込みをして学習帳を作り、いよいよ舞台上で勤める時は床本を書いて作成したそうです。最近はコピーも使用するそうですが、葵太夫師は後で必ず書写する事を若手に勧めるそうです。またコピーについては、勉強のための複写だけでなく、万一に備えた危機管理として、副本を作っておく事にもつながるそうです。葵太夫師は出演期間中、ご自身が休演した時の対策として床本を楽屋に置いて帰るそうですが、「床本」が、使用する太夫自身が作成する唯一無二の資料ならではのお話だと思いました。昔は、仕事の種である床本を貸さない、簡単には見せてくれない師匠もいたそうですが、葵太夫師は、先人が苦労や工夫を重ねて作り上げた床本を預って、今度はご自身が次世代へ取次ぐという意識でいらっしゃるそうです。

後半では、デジタルアーカイブの竹本鏡太夫師の床本『忠臣蔵 四段目』の画像を映写して、葵太夫師に各場面大変分かりやすくご解説頂きながら、実際に詞章の部分を語って頂くという非常に贅沢な講演会となり、実演家ならではのエピソードを交えて、要所に入れてくださる語りの声に、参加者の方々も熱中して聞き入っている様子でした。

最後に、葵太夫師は、「床本には魂が宿っている」というお話をしてくださいました。「床本」に込められているその作品の浄瑠璃作者・作曲者・伝承者・指導者などの魂に敬意を払って活用し、そして、また後継者を育ててそれを伝承していくという事の大事さが込められたお話でした。

当館では、竹本協会のご紹介により、太夫のご遺族やお弟子筋からご寄贈を受け、現在約1900冊の床本を所蔵し、今回そのうちの590冊について、デジタルアーカイブで検索・閲覧が出来るようになりました。今回の講演会もデジタルアーカイブ公開の非常に大きな成果であると思っております。床本のデジタルアーカイブ化にお力添えを頂いた皆様、そして今回の講演会の開催を導いてくださった皆様、すべての関係者の皆様に深く感謝申し上げますと共に、今後も貴重資料の保存と活用に努めてまいります。

■「八代目尾上菊五郎 六代目尾上菊之助襲名披露記念」特別展示&資料紹介

閲覧室では5月2日より6月27日まで、「八代目尾上菊五郎 六代目尾上菊之助襲名披露記念」特別展示&資料紹介を開催中です。

5月、6月の歌舞伎座は、八代目尾上菊五郎、六代目尾上菊之助襲名披露興行「團菊祭五月大歌舞伎」「六月大歌舞伎」です。当館では、この度の大名跡の襲名披露興行を記念いたしまして、通常は非公開の資料「六代目尾上菊五郎の押限」を特別に展示しているほか、代々の菊五郎に関する資料や昭和48年の七代目菊五郎襲名披露興行関連資料などを展示中です。

また、八代目尾上菊五郎、六代目尾上菊之助の初舞台など、節目となる公演の台本やプログラム、写真集、インタビュー掲載誌など関連資料は手にとってご覧いただけます。なお、襲名公演にて上演される各演目に関する資料は5月、6月で展示替えをし、公演をより楽しんでいただけるよう、資料を揃えてお待ちしております。歌舞伎座ご観劇の折などには、ぜひご来館ください！



代々の菊五郎関連資料

開催期間: 令和7(2025)年5/2～6/27 平日: 10～17時
(休館日: 土日祝日・最終木曜日)
開催場所: (公財)松竹大谷図書館 閲覧室/入館無料

■オリジナルグッズ新商品が発売開始！

松竹大谷図書館オリジナルグッズに、新商品「信州川中島大合戦組上」シールが仲間入りいたしました！



「信州川中島大合戦組上」シール ¥400(税込)

当館所蔵の組上燈籠絵「信州川中島大合戦組上」をデザインに用いたオリジナルシールです。「信州川中島大合戦組上」は、甲斐の武田信玄と越後の上杉謙信が信州の川中島に対陣した「川中島の戦い」で、激戦のなか、謙信自ら本陣の信玄めがけて斬り込んだという有名な逸話が描かれた組上燈籠絵です。



組上燈籠絵「信州川中島大合戦組上 五枚つづき」
出版: 明治42(1909)年6月 出版者: 東京浅草 牧金之助

近松門左衛門作『信州川中島合戦』にこの川中島合戦の場面がありますが、近年はほとんど上演されていません。華麗な画面から考えると、錦絵から思いついて書き上げたと言う河竹

黙阿弥の『川中島東都錦絵』の可能性が高いですが、この配役での上演は見当たらないところから、夢の配役である“見立て”と思われます。



《配役》
上杉謙信 十五世市村羽左衛門
武田信玄 八世市川高麗蔵
原大隅守 七世市川八百蔵
鬼兒島弥太郎 二世市川左團次
山形三郎兵衛 初世中村吉右衛門
長坂張閑 六世尾上栄三郎

閲覧室では、こちらの組上完成形も展示しておりますので、ご来館の際には、ぜひご覧ください！

なお閲覧室のほか、松竹歌舞伎屋本舗オンラインショップでもご購入いただけますので、ぜひご利用ください。

松竹歌舞伎屋本舗

<https://store.shochiku.co.jp/shop/g/g25J01002/>

■松竹大谷図書館所蔵 歌舞伎映画一挙上映&尾上右近トークショー開催！

当館では、創立者・大谷竹次郎が歌舞伎の名舞台を映像に残そうと尽力した歌舞伎映画フィルムを所蔵しております。

4月5日（土）より17日（木）まで、新橋演舞場にて開催された「思い出の松竹銀幕セレクション in 新橋演舞場」では、上映期間中毎日、松竹映画とともに当館が所蔵している歌舞伎映画が上映されました。

なかでも『鏡獅子 4Kデジタル修復版』は、クラウドファンディングプロジェクト「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」にて、皆さまのご支援によりデジタル修復された作品で、2023年、第36回東京国際映画祭の小津安二郎生誕120年特集上映以来の劇場上映となりました。

また、4月7日（月）には「歌舞伎の日」と題し、一日を通して当館所蔵の歌舞伎映画が上映され、大勢の歌舞伎ファンのお客様にお越しいただきました。

なお、お昼の回上映後には、4月歌舞伎座「四月大歌舞伎」において、新歌舞伎十八番の内『春興鏡獅子』に出演された尾上右近丈による『鏡獅子 4Kデジタル修復版』上映記念トークショーが行われました。

3歳の頃、曾祖父・六代目菊五郎による『鏡獅子』に魅せられたという右近丈は、「憧れの象徴である作品を観て、改めて原点回帰の想いです。憧れて手の届かないものとして観てきた作品ですけど、自分が演じる上での参考資料という目で観る自分もいる。それが新鮮でした」と、『鏡獅子』に対する並々



尾上右近トークショー

ならぬ想いを語りました。また、「細部まで鮮明で、六代目がより人間らしく感じました」と、鮮やかに蘇った『鏡獅子 4Kデジタル修復版』の感想を語り、会場は大いに盛り上がりしました。

この度の「思い出の松竹銀幕セレクション in 新橋演舞場」では、劇場上映の機会の少ない当館所蔵の歌舞伎映画を、たくさんの方の歌舞伎ファンの方にご覧いただくことができました。今後もこうした機会をつくり、より多くの方に、竹次郎が遺した、貴重な歌舞伎の名舞台の映像をご覧いただけたらと願っております。

■4月特別展示「大谷竹次郎が遺した歌舞伎映画」&資料紹介「祝20周年！シネマ歌舞伎」を開催しました

令和7年4月は特別展示として、松竹大谷図書館所蔵 歌舞伎映画 一挙上映記念特別展示「大谷竹次郎が遺した歌舞伎映画」と、資料紹介「祝20周年！シネマ歌舞伎」を開催しました。

当館では、創立者・大谷竹次郎が歌舞伎の名舞台を映像に残そうと尽力した歌舞伎映画フィルムを所蔵しております。4月5日より17日まで開催されました「思い出の松竹銀幕セレクション in 新橋演舞場」におきまして、当館所蔵歌舞伎映画が一挙上映されたことを記念し、貴重な映画の台本やプレスシートなどの資料を展示いたしました。

また、資料を手にとってご覧いただけるブックトラック展示は、「祝20周年！シネマ歌舞伎」でした。「シネマ歌舞伎」は、高性能カメラで撮影された歌舞伎の舞台を、映画館のスクリーンで身近に観賞できる映像作品です。初めて上映されたシネマ歌舞伎は、20年前の平成17(2005)年1月15日に公開された『野田版 鼠小僧』で、4月より始まった特集上映「《月イチ歌舞伎》2025」でも、20周年を記念してその開幕を飾りました。展示では、当館が所蔵する「シネマ歌舞伎」のパンフレット44冊をブックトラックに並べ、『野田版 鼠小僧』のポスターも展示しました。

期間中は、多くの歌舞伎ファンの方がご来館くださり、歌舞伎映画の展示やシネマ歌舞伎パンフレットをご覧いただきました。展示期間は終了いたしました。資料はいつでも閲覧していただけますので、ぜひお気軽にご来館ください。



閲覧室展示風景

開催期間：令和7(2025)年4/1～4/28 平日：10～17時
(休館日：土日祝日・最終木曜日)
開催場所：(公財)松竹大谷図書館 閲覧室 / 入館無料

■【北條秀司スクラップブック】のアーカイバル容器への収納作業完了

当館では、昨秋実行した【第13弾】クラウドファンディングにより、当館所蔵の唯一無二の資料【北條秀司スクラップブック】をより良い状態で保存し、未来へ遺していくためのプロジェクトを進めておりましたが、皆さまのご支援のおかげをもちまして、この度、アーカイバル容器と補修を進めていたスクラップが納品され、約600点の資料について、収納作業がすべて完了したことをご報告いたします。

1) 採寸作業

北條秀司スクラップブックなどの貴重資料を収納するためのアーカイバル容器は、オーダーメイドで作ってもらうため、昨年10月末に、株式会社資料保存器材の社員の方に書架や資料の寸法を計測していただきました。大変丁寧に計測作業を進めていただきましたが、スクラップの表紙から細かな紙片が剥がれ落ちてしまうのを目にして、劣化状況が深刻であったことをあらためて実感しました。劣化資料の保存は時間との戦いですが、スクラップの内部は比較的劣化の進行が緩やかだったことから、このタイミングでご支援によりスクラップブックに貼り込まれた資料や写真などを保存出来る事はとても幸運でした。



採寸作業

2) スクラップブック18点の補修と「タトウ式保存箱」の制作
激しく劣化した18冊のスクラップブックについては、株式会社資料保存器材の工房で、表面をドライ・クリーニングしたのち、表紙、背表紙を薄い和紙や色和紙で補修、ヒンジ(留め具)で切れた表紙はつなぎ合わせる、セロハンテープは除去する、など、取扱い時に破損を拡大させず、安全に資料を取り扱えることを目的とした処置をしていただきました。補修後、1冊ずつサイズを測って「タトウ式保存箱」というアーカイバル容器を作って収納していただきました。



ドライ・クリーニング

3) アーカイバル容器の納品・設置・収納

3月中旬、納品された「棚はめ込み式箱」を、株式会社資料保存器材の方に組み立てていただき、一段ずつ書架へ設置し、書架から一時的にブックトラックに避難させていたスクラップブックを箱に収納しました。大型のスクラップブックやアルバムは、書架通路のこちら側と反対側の両方から開けることが出来る、通常の2倍の奥行がある棚はめ込み式箱を作っていただき、収納しました。また、スクラップブック以外の封筒に収納された原稿などは、中性紙の封筒に入れ替えていき、保存箱に収納しました。全ての資料を、しっかりとした厚みのある紙製のアーカイバル容器に収納したことで、貴重な資料を、埃や、温度・湿度の変化、光や大気中の酸性ガスといった様々な劣化要因から保護し、適切に保存することができました。



収納作業

今回収納作業が完了したことにより、北條秀司が当館に遺した貴重資料を長期間保存し、そして活用していく、という当館の願いが叶いました。あらためて【第13弾】プロジェクトにご支援・ご協力くださった皆様へ心より深く感謝申し上げます。

■松竹大谷図書館所蔵 歌舞伎映画作品 6月衛星劇場にて一挙放送！

松竹ブロードキャスティング株式会社が運営するCS放送「衛星劇場」にて、「松竹歌舞伎アーカイブス～幻の映画～一挙放送」と題し、当館が所蔵する下記の歌舞伎映画8作品を、6月に一挙放送いたします。

名優たちの貴重な舞台映像を、お見逃しなく！

放送日程など詳細はこちらから

衛星劇場 歌舞伎ラインナップ

<https://www.eigeki.com/special/kabukilineup>

＜歌舞伎映画作品＞

『紅葉狩』1899年撮影／1950年制作

『連獅子』1949年撮影／1951年制作

『勧進帳』1943年撮影／1949年制作

『京鹿子娘道成寺』1955年撮影／1956年制作

『汐汲』1962年制作

『六歌仙容彩～喜撰』1949年制作

『中村鴈治郎 舞台のおもかげ』1937年制作(©松竹 白井資料館)

『楼門五三桐』1950年制作(©松竹 白井資料館)

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系3月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 仮名手本忠臣蔵』	○	○	○	○
新橋演舞場	『浪人街』		○	○	○
松竹座	『関西ジュニア原石まつり』				○
南座	『妹背山婦女庭訓 三笠山御殿』	○			
	『於染久松色讀販 お染の五役』	○		○	○
	『伊勢音頭恋寝刈 油屋店先 同奥庭』	○			
シアターミラノ座	『SEIMEI』	○		○	

◆松竹系4月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『木挽町のあだ討ち』	○	○		
	『黒手組曲輪達引』	○	○		
	『彦山権現誓助剱 杉坂墓所 毛谷村』	○	○	○	○
	『春興鏡獅子』		○		
	『無筆の出世』	○	○		
	『古式顔寄せ手打式』				
松竹座	『ステージ体験ツアー 2025』				
	『二階の奥さん』	○			○
	『人生双六』	○			
南座	『浪人街』			○	○
	『春の舞台体験ツアー』				
御園座	OSK日本歌劇団『レビュー in Kyoto』	○			○
	『演奏』				
	『男伊達花廓』			○	
	『釣女』				
	『迦具土之舞』				
金丸座	『彦山権現誓助剱 毛谷村』	○			
	『新皿屋舗月雨量 魚屋宗五郎』	○			
	『蜘蛛の拍子舞』	○		○	○
	『眠駱駝物語 らくだ』	○			

◆他社演劇公演資料 (2024年11月-2025年3月) ◆ (順不同) OSK日本歌劇団『ミュージカル三銃士』博品館劇場プログラム/OSK日本歌劇団『ミュージカルドラキュラ』博品館劇場プログラム/『音楽朗読劇 仮面の男』博品館劇場プログラム/『舞台 魔法少女育成計画 F2P the STAGE First Chapter』博品館劇場プログラム/DIAMOND☆DOGS presents『White Valentine Show 2025 connect』博品館劇場プログラム/『まつとおね』能登演劇堂プログラム/『ミュージカル ヒーロー』シアタークリエイションプログラム/OSK日本歌劇団『Precious Stones (PSせいら)』OSKレビューカフェinブルックリンパーラープログラム/OSK日本歌劇団『Precious Stones (PS夏目)』OSKレビューカフェinブルックリンパーラープログラム/OSK日本歌劇団『レゼルLes Ailes』シンガポール公演プログラム/OSK日本歌劇団『研修所発表会』OSKレビューカフェinブルックリンパーラープログラム/OSK日本歌劇団『Maximum』OSKレビューカフェinブルックリンパーラープログラム/OSK日本歌劇団『OSKレビューレゼルLes Ailes』メニコンシアターAoi・瀬戸内リゾート ベッセルおおちプログラム/文学座『リ

セット』文学座アトリエ台本/劇団四季『ミュージカル 王子と少年』自由劇場 (四季) プログラム/『〈花と縁糸と〉 仮名手本忠臣蔵より』月島社会教育会館ホールプログラム/ZEROTOKYO『ZIPANGU the Party!! 「サクラガミ」』プログラム、台本/『ARIA The SINFONIA Viaggio 2』すみだトリフォニーホール大ホールプログラム/シス・カンパニー『やなぎにツバメは』紀伊國屋ホールプログラム/東京サンシャインボーイズ『蒙古が襲来』パルコ劇場プログラム/『ミュージカル昭和元禄落語心中』シアターオーブプログラム/『ミュージカルSIX 日本キャスト版』EXシアター六本木プログラム/『第177回文楽公演』国立文楽劇場プログラム、床本/『第33期文楽研修生発表会』国立文楽劇場小ホールプログラム

◆映画資料◆ (順不同) 『ショウタイムセブン』ポスター、パンフレット/『ロングレグス』ポスター、プレス、パンフレット/『おいしくて泣くとき』ポスター、パンフレット/『ヤマトよ永遠に REBEL3199 第二章 赤日の出撃』ポスター、パンフレット/『ヤマトよ永遠に REBEL3199 第三章 群青のアステロイド』パンフレット/『劇場版 僕とロボコ』ポスター、パンフレット/『パリビ孔明 THE MOVIE』ポスター、パンフレット

◆映画パンフレット◆ (順不同) 『早乙女カナコの場合は』『ネムルバカ』『STEP OUT にーにーのニライカナナイ』『エミリア・ペレス』『ミッキー17』『映画ドラえもん のび太の絵世界物語』『映画 しまじろう「しまじろうとゆうきのうた」』『教皇選挙』『お嬢と番犬くん』『プレゼンス 存在』『白雪姫』『少年と犬』『怪獣8号 第1期総集編』『保科の休日』『セッション(デジタルリマスター)』『HERE 時を越えて』『ファレル・ウィリアムス: ピース・バイ・ピース』『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』『マインクラフト/ザ・ムービー』『JOIKA 美と狂気のバレリーナ』『シンシン/SING SING』『ウィキッド ふたりの魔女』『名探偵コナン 隻眼の残像』

◆演劇雑誌◆ (順不同) 『Bandaly』24号/『Confetti』2025年 April, May/『JATET』No. 95/『KENSYO』Vol. 136/『MEG WEST』Vol. 27/『SePT倶楽部 information』2024年12月号, 2025年2月号/『the座』124号/『あぜくら』2025年3月号, 4月号/『えんぶ』2025年4月号/『ほうおう』2025年5月号, 6月号/『みんなとブーク』No. 278-No. 290/『エンタプレス』Vol. 2/『シアターアーツ』69号/『ステージびあ』2025年1+2月号, 3+4月号/『ミュージカル』2025年3月-4月号/『ラ・アルプ』2025年4月号, 5月号/『演劇映像』66号/『演劇研究』48号/『演劇博物館館報』Vol. 122/『花道』43号/『喝采』2025年6月特別号, 7月, 8月/『劇評』第36号, 37号/『月刊前進座』802号-810号/『座・高円寺』No. 32/『人形劇のひろば』137号-146号/『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点news letter』15号/『大向う』令和7年3月号, 4月号, 5月号/『長唄』136号/『銅鑼ニュース』122号-131号/『日本劇作家協会会報 ト書き』71号/『日本照明家協会誌』2025年3月号, 4月号/『日本舞踊』77巻4月号, 5月号/『悲劇喜劇』2025年5月号/『文学座通信』Vol. 766-Vol. 788

◆映画雑誌◆ (順不同) 『FLIX』2025年6月号/『NFAJニューズレター』2025年4月-6月号/『NFAJプログラム』No. 63, No. 64/『SCREEN』2025年5月号, 6月号/『TVガイド』2025年3/7号, 3/14号, 3/21号, 3/28号, 4/4号, 4/11号, 4/18号, 4/25号, 5/2号/『おとなのデジタルTVナビ』2025年5月号, 6月号/『キネマ旬報』2025年4月号, 5月号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol. 61, Vol. 62/『シナリオ』2025年5月号, 6月号/『シナリオ教室』2025年4月号, 5月号/『ドラマ』2025年4月号, 5月号/『ピクトアップ』2025年6月号/『ムービー・スター』2025年5月号/『ロケーションジャパン』2025年4月号/『映画テレビ技術』2025年3月号, 4月号, 5月号/『映画時報』2025年2月号, 3月号, 4月号/『映画秘宝』2025年5月号, 6月号/『映画論叢』68号/『日経エンタテインメント!』2025年4月号, 5月号/『日本アカデミー賞協会会報』96号/『日本映画テレビプロデューサー協会報』No. 506-No. 523/『文化通信ジャーナル』2025年4月号, 5月号/『立教映像身体学研究』12号

新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『アーカイブ中核拠点形成モデル事業報告書 平成30年度文化庁委託事業』『アーカイブ中核拠点形成モデル事業報告書 令和元年度文化庁委託事業』『アーカイブ中核拠点形成モデル事業報告書 令和2年度文化庁委託事業』『アーカイブ中核拠点形成モデル事業報告書 令和3年

度文化庁委託事業』『アーカイブ中核拠点形成モデル事業報告書 令和4年度文化庁委託事業』『令和5年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業報告書 国立映画アーカイブ事業』『日本劇映画作品目録 令和5年』

資料提供（2025年3～4月）

※許可を得た方のみ掲載しております

[展示]「松竹創業百三十周年 三月大歌舞伎」2025年3月歌舞伎座2階ロビー 組上燈籠復刻版完成形「忠臣蔵討入組上五枚續」を提供／「劇場版 忍たま乱太郎」シリーズ3作品一挙上映in新橋演舞場 2025年4月18～20日新橋演舞場 『映画 忍たま乱太郎』ポスターを提供

[出版]『歌舞伎特選DVDコレクション第145号』2025年3月5日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「フォービアン・パワーズより永山武臣宛の書状」を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第147号』2025年4月2日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「『切支丹道成寺』絵看板」を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第149号』2025年4月30日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「奈良絵本『かふきのさうし』」を提供

[放送]「ザ・共通テン」2025年3月28日フジテレビ 歌舞伎映画『鏡獅子』、六代目尾上菊五郎スチール写真を提供

[上映]「特集・溝口健二 反射する魂たち」2025年4月1～13日新文芸座 映画『浪華悲歌』『祇園の姉妹』を提供／「思い出の松竹銀幕セレクション in 新橋演舞場」2025年4月5～17日新橋演舞場 歌舞伎映画『勸進帳』『京鹿子娘道成寺』『紅葉狩』『汐汲』『中村鴈治郎 舞台のおもかげ』『連獅子』『楼門五三桐』『六歌仙容彩 喜撰』『鏡獅子』を提供／「松竹創業百三十周年 尾上菊之助改め八代目尾上菊五郎 尾上丑之助改め六代目尾上菊之助襲名披露興行 古式顔寄せ手打式」2025年4月29日歌舞伎座 特別映像「菊重扇面影 菊五郎の代々」に歌舞伎映画『紅葉狩』『鏡獅子』、『市村座改築記念全座登壇俳優』『相抱く六代目と中村吉右衛門』スチール写真を提供

[その他]歌舞伎座「松竹創業百三十周年 三月大歌舞伎」英文チラシに昭和11年3月歌舞伎座筋書を提供／歌舞伎座「松竹創業百三十周年 四月大歌舞伎」本チラシ・歌舞伎美人等に昭和2年4月歌舞伎座筋書を提供／「デジタルアーカイブで竹本床本を読む」2025年3月22日日本の森ちゅうおう（京橋図書館）1階多目的ホール 『仮名手本忠臣蔵』竹本鏡太夫床本他、上演台本・歌舞伎座プログラム等を展示と発表に提供

新たに資料をご寄贈くださった方々

（敬称略・順不同／2025年3月まで）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、協同組合日本シナリオ作家協会、株式会社日本舞踊社、涼江しげる（藤沢繁）、文学座、劇団俳優座、キネマ旬報社、清元美多郎、木村智哉（開志専門職大学）、新国立劇場情報センター、日本映画テレビプロデューサー協会、松岡亮、尾上松之助遺品保存会、有限会社合同通信社、紀伊國屋ホール、株式会社文学座、国立劇場、若林さだ吉、樽松大剛、公益社団法人日本照明家協会、協同組合 日本映画撮影監督協会、公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団、劇団民藝、国立映画アーカイブ、帝国劇場、日本劇作家協会、（株）近代映画社、おとなのデジタルTVナビ編集部、銀座百店会、玉川大学出版部、東宝株式会社ライツ事業部、寺島英男、株式会社OSK日本歌劇団、シナリオ・センター、劇団銅鑼、立教大学映像身体学科学学生研究会、公益社団法人 企業メセナ協議会、早稲田大学演劇博物館、シアタークリエ、銀座 博品館劇場、常磐津館保存会 会長 常磐津文字太夫、公益社団法人 国際演劇協会、丸善雄松堂株式会社、こまつ座、公益財団法人日本近代文学館、丹野達弥、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、一般社団法人日本演出者協会、川崎哲男、明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻、博物館明治村、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部

どうもありがとうございました

訃報

長年当館に勤務していた飯塚美砂氏が、昨年令和6年12月16日に急逝されました。飯塚氏は当館で40年以上演劇映画資料の整理保存に貢献したことから、令和3(2021)年には第66回「映画の日」永年勤続功労章を受章、令和6年3月退職後もボランティアとして当館にお力添えを頂いておりました。

ここに故人を偲び、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人松竹大谷図書館

<飯塚氏主な執筆>

歌舞伎座筋書』連載記事

- ・「筋書で見る歌舞伎座130年」①～⑩（2018年3～12月）
- ・「歌舞伎の色イロ」（2021年2月～12月）
- ・「裏表歌舞伎・ザ・仕事人」第1回(2025年1月)※遺稿

【雑誌掲載記事】

『花道』1998年18号～2023年42号

『歌舞伎特選DVDコレクション』奇数号連載記事「松竹大谷図書館の名品」

- ◆歌舞伎美人連載「[こころを映す、歌舞伎の舞台](#)」1～6(雑誌版にも掲載)
- ◆歌舞伎美人「もっと楽しむ」[Grand Kabuki History \(前編\)](#)
- ◆歌舞伎 on the web [歌舞伎演目案内](#)

『妹背山婦女庭訓』『倭仮名在原系図～蘭平物狂』『壇浦兜軍記～阿古屋』など11演目

- ◆歌舞伎 on the web [歌舞伎用語案内](#)

「[作者人名録](#)」ほか「[初代並木正三](#)」「[四代目鶴屋南北](#)」「[河竹黙阿弥](#)」など23項目

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和7[2025]年3-4月にご支援いただきました

法人・団体(50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年7月1日改定)

- 開館時間 10:00～17:00 ※ご予約なしでご利用いただけます
- 閲覧予約サービス
閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時～17時)
- 手指消毒用のアルコールをご用意しております。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

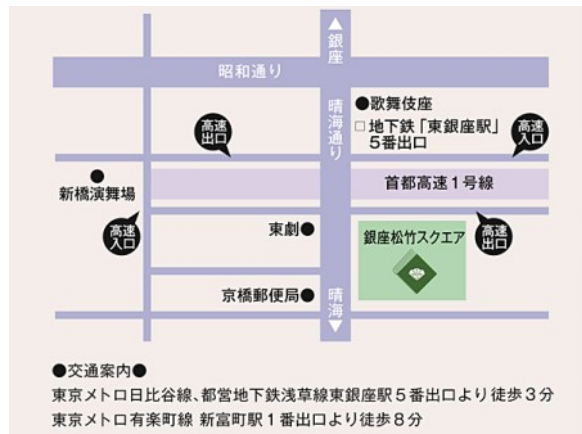
松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

夏期休館のお知らせ
令和7年8月2日(土)
～8月31日(日)～

「松竹大谷図書館ニュースレター」は隔月の発行となりました

2025年1月より「松竹大谷図書館ニュースレター」は、隔月(奇数月)の発行となりました。次号は7月の発行となります。



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>